



CHARTERED SEPT.11.1953

Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO YAMATE

YAMATE YMCA, 2-18-12, NISHIWASEDA, SHINJUKU-KU, TOKYO TEL. 03-3202-0321 FAX.03-3202-0329
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-18-12 山手YMCA内

2019



2019 - 20 会長主題

もっと地元を身近に感じようぜ！

あずさ部長	赤羽美栄子(松本)	「あなたの入会時の“ときめき”と多くの経験をワイズのために」
東日本区理事	山田敏明(十勝)	「勇気ある変革、愛ある行動！」
アジア太平洋地域会長	田中博之(東京多摩みなみ)	“ Action! ” 「アクション！」
国際会長	Jennifer Jones(オーストラリア)	“ Building today for a better tomorrow ” 「より良い明日のために今日を築く」

会長 浅羽俊一郎 / 副会長 尾内昌吉 / 書記 尾内昌吉 / 会計 中村孝誠・金本伸二郎
直前会長 浅羽俊一郎 / ブリテン 功能文夫 / 担当主事 星住秀一

2019年11月例会

<ワイズ理解・ファミリーファストの月>

とき 11月19日(火) 15:30-17:30
ところ 山手センター 101号室
受付 飯島愛子さん、飯野さん
司会 中村さん
開会点鐘 会長
モットー・ワイズソング 一同
聖句朗読・祈祷 功能さん
ゲスト・ビジター紹介 会長
部長公式訪問挨拶 赤羽美栄子あずさ部部長
ハッピーバースデー
卓話「O・MO・TE・NA・SHI が伝わらない理由は、お茶人の怠慢だった！」
茶道江戸千家教授
恵福庵名倉宗香(なくらそうこう)
深尾 香子(きょうこ)さん
(東京多摩みなみ・会長)
ニコニコ 一同
報告・連絡事項 各担当
閉会点鐘 会長

ワイズメンズクラブ モットー

『 強い義務感をもとう
義務はすべての権利に伴う 』
“ To acknowledge the duty
that accompanies every right ”

今月の聖句

心の中でキリストを主とあがめなさい。
あなたがたの抱いている希望について
説明を要求する人には、いつでも弁明
できるように備えていなさい。

ペテロの手紙 I 3章 15-16節

11月 HAPPY BIRTHDAY

中村孝誠さん 4日 上妻英夫さん 30日

会費の納入は、会計(中村君)への納入または
下記銀行口座への振込みをお願いします。
三菱UFJ銀行 高田馬場駅前支店
普通 3548431 「東京山手ワイズメンズクラブ」

10月報告

会員在籍数		11名
例会出席者	メン	6名
	メネット	1名
会員出席率		55%
ゲスト・ビジター		7名
	合計	14名
ニコニコ	6,932円(累計14,082円)	
B F	国内切手—g	外国切手—g



10月例会 報告

と き : 10月15日(火) 15:30-17:30

と ころ : 山手センター 101号室

出席者 : 浅羽、飯島(愛)、金本、功能、中村、
星住 6名

山手会友 : 福島多恵子さん

メネット : 浅羽 恵さん

ゲスト・ビジター :

田中治彦さん(卓話者・上智大学)

小野崇之さん(西村隆夫ワイズ友人)

井之上温代さん(西日本区びわこ部
滋賀蒲生野・会長)

小原史奈子さん(たんぽぽ)

服部節子さん(〃)

村野 繁さん(世田谷)

8名

合計 14名

台風19号により大きな被害を受けた中央本線の復旧が遅れていたため、予定されていた赤羽あずさ部部長の公式訪問は残念ながら中止になりました。また、この日、尾内規子さんが体調を崩されたため、尾内さんも欠席されて、山手メンバーの出席は6名となり、ちょっと寂しかったです。しかし、福島さん、浅羽メネット、小野さん、小原さん、服部さん、村野さんが今月も出席くださり、さらに、近江八幡市にある滋賀蒲生野クラブの井之上会長がたまたま上京の機会があったのでと出席くださった。「朋あり、遠方より来る。また楽しからずや。」という孔子の言葉が思い出されて、

嬉しいことでした。

卓話は上智大学の田中治彦さんから、「誰にでも居場所がある社会を—もちろん外国人にも」と題してお話をいただきました。田中さんは山手Y MCA全体リーダー会会長、岡山YMCA理事、日本YMCA同盟青少年問題専門委員などの任にもついておられます。

<卓話要旨>

1、「援助」すること

「援助・国際協力」の歴史と現状を見ると、まず**慈善型**の開発・援助(子供たちの支援など)これは援助の原点で、自立を阻害することもあるが、「福祉型」として定着。

次いで**技術移転型・サービス提供型**が登場する。ニーズを把握してプロジェクト(山岳農業・茶の栽培など)を計画する。

さらに、**住民参加型**に発展する。住民自身による開発を目指し、住民自身が意思決定に参加する。

在住外国人への支援の場合、ニーズは何か? タイミングはいつか? 「助けてほしい」のか? 援助か交流か、が問われる。

2、居場所論

居場所論の起源は子どもの登校拒否問題にあったが、そこから女性、高齢者、外国人の居場所に広がって、地域の居場所づくりが論じられる。ワイズも居場所の一つである。

居場所には3要素がある。

- ・空間 安心できる場所
- ・仲間 信頼できる人
- ・時間 近い未来への展望(安心感をもてる)

グローバル化と居場所

・誰ひとり取り残さない

Leave no one Behind!

これは 2030 年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」SDGs のスローガンである。グローバル化する社会の中で「誰にでも居場所がある世界」をつくることを目指している。

在住外国人の居場所はどこか

- ・家庭、職場、学校、地域、仲間
- ・食料品店、レストラン、カフェ
- ・未来への展望はあるの？
- ・仕事、教育、老後、帰国

3、在住外国人との関わり

- ・「援助・支援」をするのか？交流の質
- ・在住外国人たちの「居場所」はどこか？



在住外国人の居場所を語る田中さん(右)



グループの話し合いの発表

講師の発題を受けて、「在住外国人との関わり」について、3つのグループごとに話し合った。そして、各グループの話し合いの様子について、簡単に報告があった。いくつかを紹介する。

- ・居場所と言われると、先ず自分たちの居場所が気になる。
- ・「向こう3軒両隣」の人間関係がなくなって

きている中で、外国人の居場所をどう作ればよいか。

- ・夜間学校で教えているが最近は来るのは外国人が多い。
 - ・山手センターでは日本語サロン (YIV) を毎月 3 回ボランティア講師によって運営している (月謝 500 円)。YMCA は期待されている。
 - ・大久保にある高麗博物館に最近韓国からの取材が増え、博物館の働きが評価されている。
- などの話し合いが行われた。(まとめ・機能)

11 月卓話者

深尾 香子 (きょうこ) さん (東京多摩みなみ・会長) 自己紹介

元々実家にあった茶筌と茶碗は、3 歳児の「ままごと遊び」の玩具に過ぎなかったが、気付けば大学で日本文化史を専攻。20 歳を契機に家を出され、厳しい師匠に弟子入りするも、茶の湯では食べて行けないと訝しみ、一般企業を経て公務員となる。その頃、地元の児童館が予算削減を理由に「子ども茶の湯教室」を閉鎖。子ども達を救うべく茶道教授としての活動を開始。ほぼ同時期に地元の国際交流団体から自宅へのホームステイ受入を依頼され、子どもたちの刺激になるかもと考えて、滞在中のプログラムも含めて手伝い始めると…「入退出」や「贈答品の受け渡し」など顕著な「立居振舞」について、お互いの心の持ち様が日本と他の国々で大きく違うことに度々驚く。以降、茶の湯の点前のもの珍しさを説明するのではなく、目に見えない事について言葉を尽くすことで、日本人の価値観や生活文化についての理解を助ける工夫を続けている。

10 月 ヨルダン会 休会

○次期国際会長の投票結果

9 月に急逝した次期国際会長のポール・ヘンリック・ホーヴ・ジェイコブセンに代わる次期国際会長の選挙が、全世界の区理事の投票によって行われ、デンマークのジェイコブ・クリステンセン (Jacob Kristensen) が選出された。

ジェイコブ・クリステンセン (Mr.) 67 歳

所属：ヨーロッパ地域・デンマーク区・リンク
ピングワイズメンズクラブ

経歴：元教師 (校長)、デンマーク区理事 (2005)、
ヨーロッパ地域会長 (2010)

YMCAニュース

1. 山手のまつり



10月27日(日)に開催した「YMCA山手のまつり」は、多くの方に来場いただき楽しくにぎやかな一日となりました。事前の準備や当日の運営には72名のボランティアとスタッフがあたり、会場には各種飲食店、クラフト体験、手作り製品販売、献品市、子どもの遊び場「Yリンピック」など合計24のブースが用意されたほか、ピアノとトランペットの演奏、恒例の抽選会があり大盛況となりました。おかげさまで益金は約50万円となりました。YMCAの国際協力、台風19号・15号支援、東日本大震災復興支援、フレンドシップファンド、ユースボランティアリーダー養成のために大切に用いさせていただきます。また多くの企業・団体・個人の方々よりご支援をいただきました。ありがとうございました。

2. 台風19号・15号被災地支援募金

9月9日に千葉県を中心に猛威を振るった台風19号、そして10月12日に関東と東北地方を縦断した台風19号により、広域にわたり甚大な被害が出ています。YMCAは、被災地でのボランティアワーク等の支援はもちろんのこと、中長期的な視野に立って人びとの困難に、特に日常生活を奪われた子どもたちに寄り添い続けます。コミュニティの復興支援を目指して、全国のネットワークや特性を活かした活動を展開していきます。山手コミュニティセンターでは、10月31日に高田馬場駅前にて街頭募金を実施しました。

募金額：38,061円

参加者：22名

引き続き募金活動を行います。皆さまの尊いご支援をお願い申し上げます。

3. 山手クリスマス会

12月1日(日)に山手コミュニティセンターではクリスマス礼拝・祝会を行います。

詳細はYMCAまでご連絡ください。皆さまのご参加をお待ちしています。

(星住秀一)

おたより

<上妻英夫さん> 「栗は落ち 妻植えトマト甘きかな」 今春 甥が見かねて耕耘機で掘り起こしてくれました(耕耘機で埋もれそうな畝) お陰でミニトマトは背丈以上に伸び 甘味も格別でした。

<井之上温代さん> (滋賀上野クラブ)

今日はありがとうございました。会長自ら生のワイズソング演奏、聖書朗読、お祈りなど、ワイズメンズクラブの姿を見せていただきました。

講演もレベルが高かったですし。

我がクラブの宝物「ワイズの輪」のおかげで、たくさんのご縁が出来ました。現在341番目の方にお願ひ中です。浅羽様にも直接お礼を申し上げることが出来、嬉しく思っています。

来春もまた、東京に来ますのでまたお邪魔させていただきますませ。

来年6月びわ湖ホールで開催される西日本区大会にお越し下さい。

○東京八王子クラブ 25周年記念例会(10月12日(土)開催予定)は台風19号が接近したため中止となった。

○あずさ部部大会(10月19日(土)開催予定)は台風19号により交通機関に被害が生じたため12月14日(土)に延期された。松本クラブの「アジア賞授賞式」と併設で開催する。

台風19号・15号被災地支援

ポジティブネットYMCA募金

募金目標額：3,000万円

協力：東日本区・西日本区